

市長と前副市長の対立に終止符を打ち、

『輝く滑川』を取り戻そう!!

今、多くの市民の皆様から「滑川は危機である」との声が寄せられている。3万4千人の市民が乗船している「滑川丸」が船長の独善的・場当たりの・思いつきの舵取りで船が座礁し、船底に穴があき浸水が始まった。このままでは沈没する。この悲痛な市民の叫びに私は最後のご奉公として立ち上がりました。

政治の根幹は**人づくり**と**地域づくり**、加えて私の夢は**ふるさとづくり**であります。私たちは日々の暮らしの中で、自分が生まれ育った場所を**ふるさと**と認識し、愛してきました。**ふるさと**に帰属しているという意識が私たちに安心感をもたらしました。**ふるさと**はいわば心のよりどころであります。

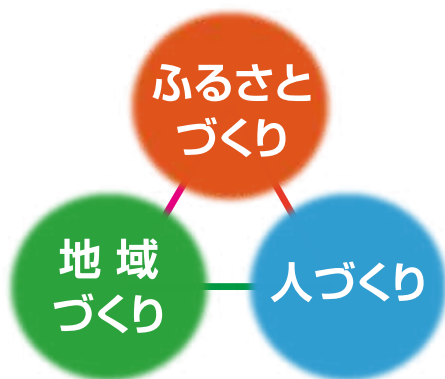
私たちの活力の源であり、誇りである**ふるさと**を再認識し、**ふるさと**を愛することの大切さを後世に伝えていくことが必要ではないでしょうか。

「ふるさとづくり」とは、ある場所に“心を寄せる”ことと“そこにかかわる”ことのくり返しです。このくり返しが「新しいふるさと」をつくります。愛着のある場所との“かかわり”によって、失われつつある「ふるさと」への誇りと価値を再びつくるのです。新しい**ふるさと**は、百年先の子供たちまで受け継がれるものになっていきます。私たちの**ふるさと**それは滑川です。

教育も福祉も産業も都市基盤の整備もすべてが**ふるさとづくり**と表裏一体であります。市民の皆様と協働で「ふるさとづくり」に取り組みたいです。

オリンピックの東京招致は一度失敗しました。安倍総理も一度は総理の座を降りました。しかし、一度の失敗や挫折があっても頑張れば、努力をすれば再び実を結ぶ社会であることを証明したいと思います。

変わらぬご指導・ご鞭撻のほどお願い申し上げます。



なかや一博

かず ひろ

- 平成14年2月私が市長就任時は市の借金総額約289億円でしたが、2期8年間で40億円返済し平成22年3月には249億円になりました。しかし4年前財政は非常事態、危機的状況、子どもの代にツケを回すな！と言いながら平成25年度末には借金総額257億円と減るところか増えています。なのに出張はグリーン車…
- 4年前は「チーム滑川」でまとまっていた。それを今回言わねばならない状況を誰が作り出したのか。この混乱の中心にいたのは市長と前副市長……。

なかや 一博が 市政にチャレンジする理由

輝

京都清水寺
森清範貫主 書



なかや 一博

か
ず
ひろ

● 福祉、少子高齢社会

- ア) 子育て…インフルエンザ等予防接種の公的助成の拡充
 イ) 健康…スポーツ団体助成制度の拡充・食生活改善普及活動の強化
 ウ) 福祉…介護有資格者増加対策（富山医療福祉専門学校との連携）
 介護バンク制度、シルバー人材センター転職の拡大
 エ) 人口…転入者支援制度

● 教育

- ア) 滑川中学校と早月中学校の『学校選択制』
 イ) 少人数教育の推進など教職員等指導体制の整備や道徳教育の充実などによる生き抜く力の養成
 ウ) 土曜日の教育活動の推進 エ) 将来を担う次世代の育成

● 防災・防犯

- ア) 地震対策… ●老朽化住宅の耐震補強費の助成
 ●液状化危険地域での対策費の助成
 ●側方流動対策の助成
 イ) 寄り回り波や津波対策のバージョンアップ
 ウ) 防犯灯や街灯の増設 エ) 沖田川治水対策事業の1日も早い完成！！

● 観光（自然・歴史・生活文化・食文化・イベントなどのベストミックス）

- ア) 地域活性化特別枠の新設
 イ) 北陸新幹線開業、全国豊かな海づくり、全国植樹祭等に向けた交流人口の拡大
 ウ) 新食材、おみやげ、おもてなしスポットの開発
 エ) ゆるキャラを活用し、集客イベントの定例化（毎月）

● 商業・農業・漁業

- ア) クーポン券、地域振興券など小手先の手は限界。当事者、行政、コンサルによる構造的改革の検討
 イ) 加工品、おみやげ品など付加価値向上プロジェクト

● 街なか再生

- ア) 街なかの賑わいと良好な住環境の整備

● 行財政改革

- ア) 施策の選択と重点化に向けて行政評価制度の導入
 イ) 透明かつ競争性の高い入札制度の推進

● 男女共同参画と女性の市政参画の推進

◆詳細は「なかや一博公式 HP」をご覧ください。

なかや一博

検索

